

台風2号「マーワー」支援のため、GRAMに救援物資を空輸 YOKOTA AIRLIFTS SUPPLIES TO GUAM AFTER TYPHOON MAWAR

June 14, 2023

By Staff Sgt. Spencer Tobler
374th Airlift Wing Public Affairs

6月3日、チーム横田は、台風2号「マーワー」の直撃を受け復旧活動が行われているグアムへの支援を始動し、グアム・アンダーセン空軍基地に3万6,000ポンド(約8,000kg)以上の冷凍食品と冷蔵生鮮食品を届ける手配を行った。

アメリカ海洋大気庁(NOAA)によると、今回の台風は、サフィール・シンプソンのハリケーン風速計でカテゴリー4の大西洋ハリケーンに相当する勢力でグアムを襲い、2002年以降に同域を襲った台風としては最大だった。太平洋空軍・アンダーセン空軍基地第36航空団の本拠地が置かれている島周辺が甚大な被害を受け、現在、基地と地域サービスの復旧が進められている。

第374装備即応中隊貨物搬送課主任アレクサンドラ・デ・ロス・サントス技能軍曹は、「突然の災害で対策に猶予もなかったが、タスクを実行する準備はできていた」「必要時のために計画し準備することは任務の一部だ。同部隊は、人員と機材を必要な場所へ即座に展開する使命を担っている」と述べた。

この1週間、第374装備即応中隊と横田に駐留する航空機動軍団のテナント部隊である第730航空機動中隊のメンバーは、在日AAFESと連携し、グアムに在庫物資を2度にわたって空輸した。

デ・ロス・サントス技能軍曹は、「可能な限りの支援をしたい」「グアムに駐留する家族とAAFESを支援することで、災害復興の大局に貢献できる」と期待を語った。

AAFESが提供した在庫物資は主に、災害復興でチームアンダーセンのメンバーが必要とする食料である。

AAFES日本配送センター・マネージャーのラッセル・バンディ氏は、「連絡を受け、チームは直ちに支援に取り掛かった」と振り返り、「被災した軍人や家族が復旧に必要なものが得られるよう、わずか3時間足らずでパレット37個分の商品を梱包し積み込んだ」と語った。

2022年3月にウクライナに人道支援物資を提供した時と同様に、第374空輸航空団の危機対応と災害救援への積極的な支援は、インド太平洋管轄地域とその先の同盟国およびパートナーに迅速、広域、柔軟に空輸能力を提供するチーム横田の取り組みを表している。

